

杉並社協のマスコットキャラクター「うえるくん」

ささえあう 地域づくりが 仕事です

2010.7.10

社会福祉法人  
杉並区社会福祉協議会

社協は地域福祉を推進する  
社会福祉法人(民間団体)です。

# すぎなみ社協 No.138

〒167-0051  
杉並区荻窪5-15-13  
あんさんぶる荻窪5階  
☎03-5347-1010(代)  
e-mail  
fukushi@sugisyakyo.com

広報紙「すぎなみ社協」は奇数月(5・7・9・11・1・3)10日発行です。  
ホームページでもご覧になれます。http://www.sugisyakyo.com

### 主な記事

- 2面 ● ボランティアいろいろ事典
- 3面 ● 平成21年度決算及び事業報告
- 平成22年度 重点事業
- 民生委員児童委員コーナー
- 4面 ● ささえあう地域福祉の輪

# ボランティアのすすめ

## 「はじめてのボランティア」説明会

### 応援します！ ボランティアで 地域デビュー

「ボランティアを始めたいけれど、自分に合う活動はありますか?」「自宅の近くでボランティアをしたいけれど、どんなボランティアがありますか?」「継続のボランティアはできないのですが、単発のボランティアはありますか?」

一歩踏み出すのをためらっている方に向けての説明会です。ボランティアを始めたいというお気持ちがある方は、ぜひ、説明会にご参加ください。ボランティアの基本からご説明いたします。最初から「ボランティアをするのは荷が重い」と思う方には、講座のご案内もします。

### 内容

- ボランティアって何?
- ボランティアのいろいろ
- どんなボランティアがあるの?
- ボランティアって何するの?
- その他情報提供

### 日時

- 1回目 平成22年8月2日(月)
  - 2回目 平成22年9月1日(水)
- 時間 午後1時30分〜午後3時
- ※両日とも同じ内容です。

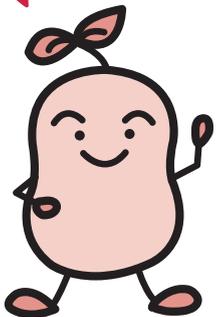
### 会場

あんさんぶる荻窪 4階  
環境学習室

### 対象

年齢・性別は問いません。  
興味のある方は、どなたでも参加できます。

ボク、うえるくんです。  
ボランティアのこと、  
もっと知りたいな。



## やってみよう! ボランティア

一人ひとりの気持ちをうかがって情報提供やアドバイスをします。

1 **まず相談**  
どんなことに関心があるのか、いつ可能なのか、どのような人を対象にするのか、希望をコーディネーターに伝えてください。

どうやって  
すすめるのかな

2 **どんな活動があるのかな?**  
募集情報の中から、活動を選択します。



これを  
やってみよう!

4-2 **活動先の再選択**  
考えていた活動と違っていている場合は、選び直すこともできます。

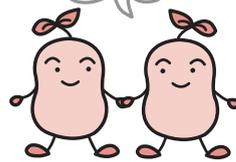
2 ^

第1印象も大切。  
募集者と活動希望者が  
お互いに面接します。



3 **相手を知ろう!**  
選んだ先の見学や顔合わせをします。

みんなでワイワイ  
できるイベントの  
ボランティアも  
あるんだね



4-1 **活動決定**  
選んだ先で活動を  
始めます。

活動を通じて徐々に信頼  
関係を築いていきます。  
困った時はご相談ください。

ボランティアの募集情報は、毎月10日発行の情報紙『ボラン・て』や、センターのホームページに掲載しています。『ボラン・て』は、あんさんぶる荻窪の各階のほか、JR中央線西荻窪から中野までの各駅などに置いてあります。センターのホームページは、社協のホームページからご覧になれます。



# ボランティア いろいろ事典

ボランティアその前に

## ◆ボランティアの語源

ラテン語の「志し」「自由意思」を表すvoluntasという言葉が、フランスで「喜び」や「精神」という意味のvolonteになり、英語のvolunteerになったと言われています。日本では、1969年広辞苑に掲載されたのが最初とされています。

## ◆ボランティア元年

1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災で、被災者支援のボランティア活動に参加した人の数は3か月間で延べ117万人と言われています。義援金拠出、物資提供などの後方支援に携わった人々を含めると、参加人数はもっと増えるでしょう。この災害を通して、被災地でのボランティア活動の重要性への認識が一気に高まりました。このため、この年を「ボランティア元年」と呼ばれています。

ふーん、ボランティアってずいぶん古い言葉なんだね。



## ◆ボランティア活動の本質

ボランティア活動には、①自発性②社会性・公益性③無償性④創造性・先駆性の四つの特性があるとされています。

「自分から」何かしたいと思ったときに、ボランティア活動は始まります。ほかから強制されたり、義務で行うものではありません。「いろいろな人と」お互いを尊重し合いながら行う活動です。活動の先には「充実感」が待っています。いろいろな人と一緒に成し遂げる、作り上げていく充実感こそが、ボランティア活動の醍醐味です。「いつも新鮮に」マンネリにならず、自分や周りのことをいつでも見直して、経験、知識、感性をフル活用してより楽しい活動にしましょう。

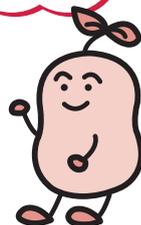
## ◆数字でみるボランティア

全国社会福祉協議会で把握しているボランティアの数は、8,327,670人(2007年10月現在)となっています。このボランティアの数は、ボランティア団体に所属する方と、個人で活動するボランティアの人数を合計したものです。1980年と比較して、団体に所属するボランティアは、約4.9倍。ボランティア団体数は、約9.1倍。個人ボランティアは、約14.6倍となっています。

## ◆杉並のボランティア活動

杉並社協が把握しているところでは、1965年視力障害者に対するボランティア「杉並三木会」、1972年「杉並・老後を良くする会」、1974年浴風会病院内のボランティア「ごもく会」「ボランティアグループ金曜会」、1977年「手話サークル杉の会」など福祉分野を中心に続々と誕生しました。1988年には資源活用・ごみの減量などを掲げた「井の頭沿線グループ」、1990年代以降は国際協力、文化・芸術など多岐にわたる領域でボランティアグループが誕生し活躍しています。

こんなにボランティアしてる人が増えたんだ…



2002年以降、みどりのボランティア杉並、違反広告物除却活動協力員、文化財保護ボランティアなど、杉並区が募るボランティア活動の種類も人数も増えています。

## ◆杉並ボランティア・地域福祉推進センター

センターでは、ボランティア活動を希望する個人、団体等の相談に応え、コーディネート業務を行っています。昨年度の相談件数は、1300件を超えました。また、活動支援として機材の貸出しやボランティア保険の加入事務、研修や交流会、情報紙の発行やホームページによる情報提供も行っています。

センターは、ボランティア活動者からの要望を受け、1980年杉並社協内にボランティア担当者を配置したことから始まります。1985年に「ボランティアコーナー」が設置され、ボランティア活動推進事業が本格的にスタートしました。さらに、1995年には阿佐谷南で「ボランティアセンター」となりました。その後、2002年10月にNPO支援も行う「NPO・ボランティア活動推進センター」として生まれ変わりましたが、NPO支援は別法人が運営することになり、2006年にあんさんぶる荻窪に移転しました。また、2007年には地域福祉推進係と統合して、現在の「杉並ボランティア・地域福祉推進センター」となりました。

## ボランティア私の流儀

ボランティア活動をしている方に伺いました

館 佳子さんの流儀 (点字サークル「さざんか」)

### 今の自分にできることをすればいい

背伸びをせず、等身大の自分でいい。相手にできないことで、自分にできることをすればいい。何が求められているのかを話し合い、「共に歩く」ことを一番に考えています。

神谷 幸男さんの流儀 (NPO未来をつなぐ子ども資金 理事)

### 聞けば天の声に対する応答

人は何かに駆り出されて行動する習性があります。その何かは人によっていろいろです。感情であったり、理性であったり、時には天の声であったり。

## ボランティアをする場はいろいろあります

### ● 主な活動内容 ●

#### 高齢者施設など

- 利用者さんの話し相手 ● 体操や手芸等プログラムの参加補助 ● 昼食の配膳 ● シーツ交換など

#### 障害者施設など

- 作業のお手伝いやレクリエーション等、余暇活動の補助など

#### 保育園・児童館など

- 子供たちの遊び相手 ● プール遊びの補助など

単に与えられた場所に行き、言われたことをするのがボランティアではありません。このプログラムでは、活動先一覧から事前に興味のある施設を自分で選び、実際のボランティア活動に参加します。また、受け入れ先に自分で連絡をしたり活動後、記録を書いたり、活動前後を自己管理することもこのプログラムの特徴です。

夏の終わりに、さまざまな体験を積んだ参加者が一堂に会し、活動を振り返る会も行っています。

1日目は一人で参加したこともあり、緊張しました。施設の人が優しく教えてくれたので、すぐに緊張が解け、利用者の方々にも親しみがわいてきました。

# あなたが、あなたの力を生かす 夏が、始まります!

「ボランティアに興味はあるけれど、何ができるかわからない」、「ボランティアって何だろう?」「...そんな思いをもつ若い人々を後押しする企画です。」

ボランティア活動に参加することで、今まで気付かなかった世界と出会ったり(たとえば保育園で園児のお世話をしたり、高齢者施設でお年寄りのお話し相手をした)りなど、社会的使命をもった活動を肌で感じたりすることが出来ます。夏休みの体験を活かし、次世代を担う若い人たちが、地域をよくするために一人ひとりができることを考え、実践するきっかけになって欲しいと、社協では考えています。

## 中高生からの夏の体験ボランティア

ニュースや授業で、「ボランティア」という言葉はよく聞くけれど、普段はなかなかボランティア活動に関われない若い方々たちのために、社協が用意したプログラム。それが、夏の体験ボランティアです。



昨年の「まとめの会」の様子です

3日間のボランティアで、子どもたちにずっとパワーをもらって過ごすことができました。

興味のある方は  
ご連絡ください

- 【問合せ】杉並ボランティア・地域福祉推進センター
- ☎03-5347-3939 e-mail:info@borasen.jp
- http://borasen.jp

ぼらせん.jp 検索

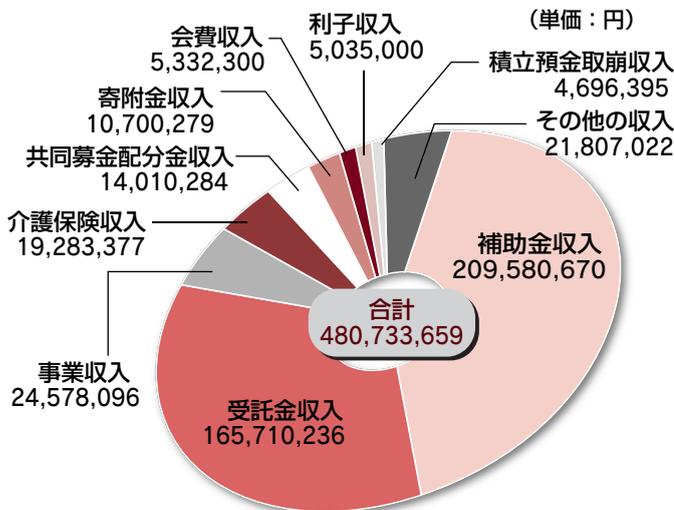


# 平成21年度 杉並社協・決算及び事業報告

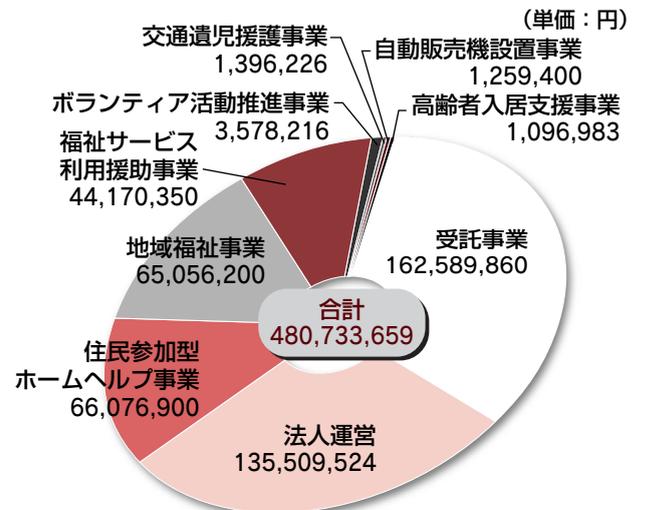
## 決算報告

杉並社協の主な収入は、行政からの補助金、受託金が約8割を占めています。主な支出は、歳末たすけあい募金等を財源とする地域福祉事業、補助金によるボランティア活動推進事業、住民参加型ホームヘルプ事業、福祉サービス利用援助事業、受託金によるファミリーサポートセンター事業、地域包括支援センター事業(ケア24)、認定調査事業、またそれらの事業を支える人件費、事務費です。皆様からの会費、寄附金は、補助・受託事業の対象になっていないホームページの運営や広報紙の発行などに充てさせていただいています。

### 平成21年度 決算報告 (収入の部)



### 平成21年度 決算報告 (支出の部)



## 事業報告

21年度は、全体的には大きな変化はありませんでしたが、特に数値が増えた事業をいくつかご紹介いたします。詳細は、報告書または社協ホームページをご覧ください。報告書は社協にありますので、お問合せください。

#### ☆きずなサロン (※1)

自宅開放型のきずなサロン“みちくさ”(高円寺北)が新規に立ち上がり、全部で11か所となりました。

#### ☆車いす貸出事業

前年度比28.7%増の1,451件の貸出しがありました。また貸出拠点が町会・自治会などで5か所増え、189か所になりました。(保管台数 234台→250台に)

#### ☆生活福祉資金等の貸付事業

離職等により日常生活全般に困難を抱えた世帯対象に、“総合支援資金”が平成21年10月に新設され、相談件数は1,490件でした。前年の離職者支援資金の相談と比べると14倍になります。他の貸付資金を合わせると総相談件数は2,922件で、前年度比2.6倍でした。また、厚生労働省が実施した“ワンストップ・サービス・デイ”に職員を派遣して協力しました。

#### ☆介護認定調査事業 (※2)

杉並区内の総調査件数21,608件の内、7,691件を受託しました。また、区外居住者の調査についても新たに契約を結び、上記の内904件の調査を行いました。

※1 地域の方々を中心となって運営し、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんだりする交流の場です。杉並社協が開設の応援をしています。

※2 介護保険サービスを利用する際の、要介護度を定めるための調査で、杉並区からの受託事業です。また、区外居住者とは、杉並区に住民票はありますが、入院などのため区外に居住している人です。

## 平成22年度 杉並社協・重点事業

### ① 広報紙「すぎなみ社協」の充実

発行回数を年4回から6回に増やします(奇数月・10日発行)。これまで以上に区民のみなさまに社協事業を効果的に伝え、また区内の地域福祉の取組みを積極的に伝えていきます。

### ② (仮称) 地域福祉フォーラムの開催

地域福祉をテーマに、講演会や福祉体験、地域活動の発表などさまざまなプログラムを実施します。また、いろいろな人と話し合い、交流する場も計画します(11月7日(日)開催予定)。

### ③ 福祉のおしごとフェアの開催

杉並区と協働して、福祉の人材育成・確保をめざして、区内の福祉関連事業者による求人・求職の相談・面接会を開催します(9月18日(土)開催予定)。

## 身近にいます

# 民生委員・児童委員 主任児童委員

杉並区内には、13地区の民生委員児童委員協議会があり、401名の民生委員・児童委員と28名の主任児童委員がいます。このコーナーでは、民生委員・児童委員と主任児童委員が、どのような活動をしているかを取材して紹介します。

### 子どもたちが健やかに育つために…こんな活動もしています。

★井荻小学校区の民生委員・児童委員は平成20年9月から「朝遊び」の見守りに協力しています。



朝遊びは、井荻小学校の「学校支援本部いおぎ丸」の事業のひとつです。PTAのOBや地域住民と一緒に、授業開始前30分間を子どもたちと遊びながら、安全に配慮し見守りを行っています。

参加している子供たちは、「うんていをしていて、手のまめから血が出ちゃった。」など見守りボランティアの方に安心し

て声をかけます。ボランティアの方も「一緒に保健室に行こうね」と促したりします。

★朝遊びをすることにより、脳の働きが活発になり、授業にスムーズに入れて、とてもよいということです。

見守りボランティアの方は、子どもと一緒に遊んだり、話をしたりすることで、親しみがわき、それにより子どもたちからの相談を受けやすくなります。

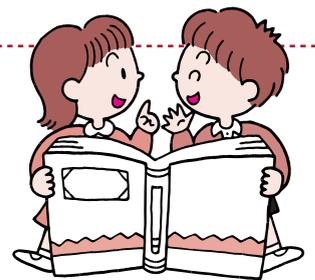
★このような見守りを通して、地域住民や民生委員・児童委員が、地域のなかで子どもたちに声をかけたり、あいさつを交わしたりと、子どもたちの安全に配慮した環境づくりを進めています。

〈取材:民生委員児童委員協議会 鈴木(井荻地区)、渋谷(成田地区)、中田(荻窪地区)〉

#### 【民生委員・児童委員、主任児童委員に関するお問合せは】

杉並区保健福祉部管理課地域福祉係 ☎03-3312-2111 (代表)

杉並区社会福祉協議会 ☎03-5347-1010



# ささえあう 地域福祉の輪



「笑うかど Kotane (こたね)」

## 「食」を通じて地域づくり

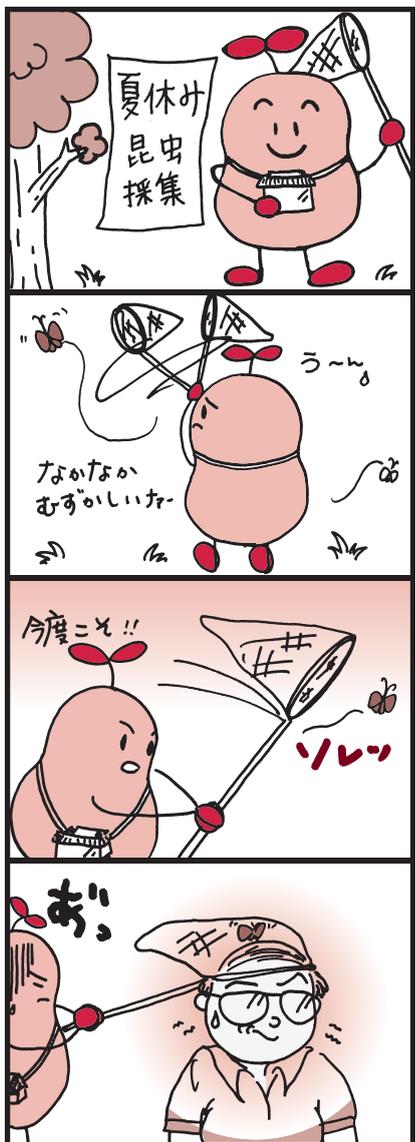
杉並区宮前在住の種岡祐子さんが、仲間と立ち上げた任意団体「笑うかどKotane (こたね)」が運営する「マチュアサロン」を訪ねました。

「マチュアサロン」は、シニア世代が「食」を通じてつながることを目的とした活動の場です。食事サービスといえば、自宅に届く配食型や、皆で集まって食事をする会食型が中心ですが、このグループの活動は、調理から参加し、《皆で作って皆で食べる》ことを目的とした食事です。ゆづゆ荻窪東館で毎月第二金曜日に開かれています。この日の参加は男性3名、女性が5名でした。

「マチュア(Mature)」とは「成熟した」という意味で、シニアやシルバーよりももう少し若く、いつまでも生き生きしているイメージにするために名付けたことです。

「火は弱めなさい」「色が薄いけど、お醤油入れた？」男女の区別なく役割分担をこなし、賑やかな声とともに本日の料理が完

## うるくん(25) 夏休みの巻



うるくんは地域福祉活動の種。彼の名前には、その種を「植える」、福祉を意味する「ウェルフェア」、皆さんと一緒にという気持ちにあらわす「ウェルカム」の3つの想いがこめられています。

成しました。参加者からは「お金を出せば、荻窪ならどこでも食事ができるけど、お話し相手はいないから...」「普通、お店ではこんなにおかずの種類がないから、いろいろ食べられて幸せだ」などの感想が聞かれました。

運営グループでは、料理を教える人も地域の人が、絵が得意な人はレシビに挿絵を入れるなど、できることをお互いにしあえる当たり前の付き合いができればいいと考えているそうです。また、地域の高齢者が元気づけに皆で食事をする楽しさをつくることが、顔見知りも増え、引きこもりも少なくなるのではないかと思っています。



この活動は、代表である種岡さん自身が、子供の成長等家族環境が変化する中で、い

つの間にか地域から孤立していることに気づき、また、社会教育センターの講座『すぎなみ大人塾』の受講をきっかけに、自分の課題は地域の課題でもあると認識し、「食」を通して顔の見える地域をつくってみたいという思いが形になったものです。

さらに子育て世代にも地域の縁が広がっています。昼間働いていると地域とのつながりが薄れ、やはり地域から孤立してしまいがちです。そこで、夕方から夜にかけて親子で参加できる場を作ろうと始めたのが「キッズシエクラブ」です。こちらは夕食を、マチュアサロンと同様皆で作って食べます。月1回ですが、毎回十数組もの親子が参加しているそうです。

地域は参加すること、つながることによって作られます。地域デビューを果たしたシニア世代、子育て世代、子供たち、そして笑うかどKotaneの今後が楽しみです。連絡先 e-mail: ytanee@hotmail.co.jp Fax: 03-5936-1706 「笑うかどKotane」

## 交通遺児に 支援金を支給します

社協では、交通事故等によって父母などを失った児童に、支援金を支給します。杉並区内の幼稚園、保育園、小・中学校及び高等学校等には、お知らせを配布します。詳細は左記までお問合せください。

【問合せ】 杉並区社会福祉協議会 03-5347-1010

## 賛助会員 ご協力をお願い

杉並区社会福祉協議会は、住民会員制度に支えられた民間の福祉団体で、地域の福祉課題の解決に取り組んでいます。杉並をよりよいまちにしていきたい、皆様の賛助会員としての入会をお願いいたします。

賛助会員会費 個人会員 年額 1,000円～ その他 施設、団体、地域、企業会員があります。

入会方法 社協の窓口でお申し込みいただくか、ご連絡いただければ郵便振替用紙を郵送いたします。また、民生委員さんを通じてのご入会いただけます。

問合せ 総務係 ☎ 03-5347-1010

## ありがとうございました

### ●●●●● 寄附者名簿(敬称略) ●●●●●

平成22年2月1日～平成22年5月31日まで (お名前は承諾を得て掲載しています。)

#### 〈団体〉

- 武蔵野ドームテニススクール.....78,580円
- 社団法人 杉並法人会 社会貢献委員会.....66,110円
- (株) FFS味噌-荻窪店.....40,000円
- (株) FFS味噌-高円寺店.....40,000円
- 五日市通り商店会.....10,000円
- NPO法人日本入れ歯リサイクル協会.....42,326円
- 成一自治会 団体保険部.....100,000円
- 東京土建一般労働組合杉並支部.....232,800円
- 天沼中学校卒業生父母の会.....10,000円
- ゴルフ教育研究会.....17,500円
- (株) 本村庵.....200,000円
- 社団法人 杉並青色申告会青年部.....23,500円
- クリーンライフECO・プライフルクリーン.....20,700円
- チャリティリサイクルショップ オレンジ.....10,000円
- ヒーマンの会.....3,000円
- 社団法人 倫理研究所 家庭倫理の会杉並区.....5,000円
- NPO法人 プロップK.....5,000円
- 医療法人財団 荻窪病院 看護部.....14,100円

#### 〈個人〉

河辺 尚之.....26,000円

#### 〈匿名〉

16件.....4,446,088円



今年から年6回発行予定の広報紙。初めて広報を担当し右往左往していますが、わかりやすい紙面作りに努めたいと思っています。皆様のご意見ご要望をお待ちしております。(poko)

## 介護保険要介護認定調査員募集

- 勤務内容 介護保険申請者宅へ訪問し、要介護認定の調査を行う
- 資格要件 介護支援専門員(必須)
- 勤務時間 月曜日～土曜日のうち土曜日を含む週に3～4日、午前9時30分～午後4時30分(実働1日6時間、但し土曜日は午前9時～午後1時の実働4時間)
- 賃金 時給950円～1,300円
- 募集人員 若干名
- 勤務地 杉並区(南荻窪・永福・堀ノ内のいずれか)
- 申込み 履歴書を7月20日(火)(必着)までに杉並区社会福祉協議会・認定調査係(〒167-0051 荻窪5-15-13、あんさんぶる荻窪5階)へ郵送又は持参。書類選考の上、面接を7月27日(火)に実施。
- 問合せ 認定調査係 ☎03-5344-9871

## 宮崎県口蹄疫被害義援金のお願い

宮崎県共同募金会では、4月20日の口蹄疫発生以来、口蹄疫防疫活動により被害を受けた畜産農家に対する支援を行うことを目的に、義援金の募集を行っています。募集された義援金については、宮崎県共同募金会が取りまとめ、口蹄疫により被害を受けた畜産農家に配分する予定となっています。皆様のご協力をお願いいたします。

### 義援金募集期間

平成22年5月14日(金)から平成22年7月30日(金)まで  
詳細は杉並区社会福祉協議会ホームページ  
<http://www.sugisyakyo.com>  
または、赤い羽根募金みやざきホームページ  
<http://www.akaihane-miyazaki.jp/> 参照

私たちは杉並の地域福祉活動を応援しています。

新設保育園オープン 都市生活を営む方のために生まれた新しい保育園です



荻窪園 久我山園 志木駅前園 新座畑中国

## 園児募集

随時、職員も募集しております

見学および問い合わせは下記まで 杉並区天沼3-6-27(荻窪駅歩3分) 電話: 03-3391-0220 メール: puppyna@child.co.jp

はたらく空間で 過ごしやすき時間を 過ごすために。

オフィス・ウェア ワーク・ウェア イベントウェア等用途別に 各種カタログを取り揃えております。 お気軽にお申し付けください。

繊維部 ユニフォーム課 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-39-11 TEL: 03-3333-5107(代表) FAX: 03-3333-9449 URL <http://www.child.co.jp/uniform/> E-Mail [uniform@child.co.jp](mailto:uniform@child.co.jp)

